

～技術講演会、技術相談会～

「工場排水浄化技術の新展開」

龍谷大学 龍谷エクステンションセンター(REC)と公益社団法人 滋賀県環境保全協会は、共催事業として、処理が難しい工場排水の最新浄化技術及び今後の展開に関する【技術講演会(分科会)】、並びに皆様の技術課題等について専門の先生方と相談して頂く【技術相談会】を、下記の内容で開催いたします。

企業において日常の水質管理業務を担当されておられる方々の御参加を、心よりお待ちしております。

【日時】 2015年2月27日(金) 13:30～17:30 (受付開始 13:00)

【場所】 龍谷大学 瀬田キャンパス REC 小ホール
(大津市瀬田大江町横谷1-5 JR琵琶湖線「瀬田」駅よりバス約8分)

【申込方法】 裏面申込書をFAXいただくか、E-mail(rec@ad.ryukoku.ac.jp)
または、こちらのサイトから申込 →

<http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/fukushi/page/biz-net-08/>

【参加費】 無料(※)

※BIZ-NET会員及び滋賀県環境保全協会会員以外の方の技術相談会
御参加はお一人1,000円



◆◆プログラム◆◆

◆御挨拶及び趣旨説明 (13:30～13:35)

◆分科会Ⅰ【テーマ：有機系汚染物質の処理技術】

1 「電解フェントン型反応を利用した水処理の新展開」(13:40～14:30)

龍谷大学 理工学部 環境ソリューション工学科 教授

岸本 直之 氏

2 「水中プラズマ反応を利用した水処理の新展開」(14:40～15:30)

龍谷大学 理工学部 環境ソリューション工学科 講師

浅野 昌弘 氏

3 「水流中連続プラズマの発生方法とその応用」(15:40～16:30)

株式会社栗田製作所

特別顧問

西村 芳実 氏

◆分科会Ⅱ【テーマ：無機系汚染物質の処理技術】

1 「凝集沈殿剤の利用による水処理の新展開」(13:40～14:30)

有限会社ケーユーシステム

営業技術部長

木宮 眞 氏

2 「電離凝集法を用いた無機系排水処理の新展開」(14:40～15:30)

島津システムソリューション株式会社環境ソリューショングループ

緑川 淳 氏

3 「廃棄物による水処理の新展開」(15:40～16:30)

株式会社アオヤマエコシステム

代表取締役

青山 章 氏

◆技術相談会 (16:40～17:30)

※講演に関するパネル及びサンプル展示を行います(軽食・飲み物をご用意しております)

講演者への個別質問や情報交換の時間としてご利用ください

※酒類も用意しています(車でお越しの方の飲酒はお控えください)

■BIZ-NET研究会(2015.02.27 開催)

参加申込書

龍谷大学REC宛 FAX: 077-543-7771
(E-mail : rec@ad.ryukoku.ac.jp TEL: 077-544-7299)



申し込みの際は、必要事項をご記入の上、FAX(送信表不要)でいただくか
E-mail(rec@ad.ryukoku.ac.jp)で申込またはこちらのサイトから申込ください → <http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/fukushi/page/biz-net-08/>)

★締め切り: 2015年2月20日(金)

※参加者が6名以上の場合は、本申込書をコピーしてご使用ください。

会社名			
所在地	(〒 -)		
TEL		E-MAIL	
所属		役職	
氏名		技術相談会	参加・不参加
所属		役職	
氏名		技術相談会	参加・不参加
所属		役職	
氏名		技術相談会	参加・不参加
所属		役職	
氏名		技術相談会	参加・不参加
所属		役職	
氏名		技術相談会	参加・不参加

※記入いただきました個人情報は、本学プライバシーポリシーに基づき、厳重に管理いたします。
(龍谷大学 REC事務部)

分科会 I ～有機系汚染物質の処理技術～



講演① 13:40～14:30

「電解フェントン型反応を利用した水処理の新展開」

龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科

教授 岸本 直之 氏

※キーワード…新規促進酸化処理、OHラジカル生成

工場排水に含まれる難分解性有機化合物(有機溶剤やキレート剤等)を処理可能な促進酸化処理技術として、当研究室において電解フェントン型処理法を新規開発した。本研究会では、その原理や水処理への応用について解説する。



講演② 14:40～15:30

「水中プラズマ反応を利用した水処理の新展開」

龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科

講師 浅野 昌弘 氏

※キーワード…超難分解性化学物質、新規複合反応

超難分解性化学物質を含む排水は、既存の超高度排水処理技術を以てしても除去が困難で、新しい手法が求められている。我々は、この厄介な化学物質の処理に、水中プラズマ反応と光触媒反応を併用した新たな排水処理技術を開発した。本排水処理技術に関する最新の事例とその将来展望について紹介する。



講演③ 15:40～16:30

「水流中連続プラズマの発生方法とその応用」

株式会社栗田製作所

特別顧問 西村 芳実 氏

※キーワード…水中プラズマ生成、硝酸態窒素生成

水道蛇口にプラズマを連続点灯させる技術を開発した。その方法の解説と、水と空気をプラズマで反応させて、空気中の窒素を硝酸態窒素(液肥の一つ)で水中に固定化することに成功した。この新しい反応場の将来の応用展開について、ディスカッションしたい。

分科会 II ～無機系汚染物質の処理技術～



講演① 13:40～14:30

「凝集沈殿剤の利用による水処理の新展開」

有限会社ケーユーシステム

営業技術部長 木宮 眞 氏

※キーワード…新規複合凝集剤、高密度フロック生成

厳しくなる規制の中で処理に苦慮されていた企業様に、オリジナル凝集剤とシステムの適切なご提案ができるよう、12年にわたり日々活動している。僅か10年の間に、水処理の重要性が益々大きくなってきた。凝集剤開発側からみたユーザー様との取り組み方の変化などを紹介する。



講演② 14:40～15:30

「電離凝集法を用いた無機系排水処理の新展開」

島津システムソリューション株式会社

環境ソリューショングループ 緑川 淳 氏

※キーワード…凝集剤の生成法、導入事例紹介

電離凝集法は、電気と電極を用いて排水を高度処理する手法であり、亜鉛やカドミウム、フッ化物など無機系汚染物質の浄化に適用することができる。本研究会では、実際の排水を対象にした電離凝集法の性能評価と装置の特長について紹介する。



講演③ 15:40～16:30

「廃棄物による水処理の新展開」

株式会社アオヤマエコシステム

代表取締役 青山 章 氏

※キーワード…炭と金属の電池作用、OHラジカル生成

廃パレット等の木材を炭化した炭の付加価値商品として水処理剤を開発した。炭とアルミ・鉄(切削屑)を固着させ水中に入れると、電池作用で金属から多量のイオンが溶出する。これを利用することで、重金属等の無機質は共沈処理、難分解性有機物等は過酸化水素と反応させて出来たOHラジカルで簡易に処理が可能になった。(特許取得済)